

## 瀬戸内海の漁業

瀬戸内海は古来より豊かな海の幸に恵まれ、沿岸漁業の先進地として多様な漁業形態が発達しており、特に海面養殖業及び栽培漁業については、その発祥の地として極めて重要な役割を果たしています。我が国における海面漁業生産額の約1/5を占める当事務所所管内の漁業の一層の進展を図ることは、水産業の健全な発展を図る上で重要な課題となっています。

### ○瀬戸内海の漁業の位置付け(平成18年)

	全国	瀬戸内海漁業調整事務所所管内計	シェア	瀬戸内海区	シェア	太平洋南区(宮崎県を除く)	シェア
海面漁業生産量(百トン)	56,522	7,881	13.9%	4,768	8.4%	3,113	5.5%
漁業	44,695	4,170	9.3%	2,086	4.7%	2,084	4.7%
養殖業	11,826	3,711	31.4%	2,682	22.7%	1,029	8.7%
海面漁業生産額(億円)	15,283	3,232	21.1%	1,621	10.6%	1,611	10.5%
漁業	10,787	1,643	15.2%	959	8.9%	684	6.3%
養殖業	4,496	1,589	35.3%	662	14.7%	927	20.6%

注)表示単位未満は四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

資料:『平成18年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省

### ○瀬戸内海における主な魚種別漁業種類別漁業生産量及び養殖業生産量並びに生産額(平成18年)

	瀬戸内海区		太平洋南区(宮崎県を除く)	
漁業生産量計(百トン)		2,086		2,084
魚種1位	かたくちいわし	419	さば類	348
魚種2位	いかなご	333	かつお	320
魚種3位	しらす	184	まあじ	197
上位3位シェア		44.9%		41.5%
漁業種類1位	船びき網	760	中・小型まき網	494
漁業種類2位	小型底びき網	576	大・中型まき網	355
漁業種類3位	小型定置網	58	まぐろはえ縄	279
上位3位シェア		66.8%		54.1%
漁業生産額計(百万円)		95,856		68,428
魚種1位	しらす	8,759	かつお	8,862
魚種2位	たこ	6,071	めばち	8,282
魚種3位	かれい類	6,070	まあじ	5,321
上位3位シェア		21.8%		32.8%
漁業種類1位	小型底びき網	41,847	まぐろはえ縄	18,433
漁業種類2位	船びき網	20,722	かつお一本釣	7,960
漁業種類3位	小型定置網	3,107	中・小型まき網	6,980
上位3位シェア		68.5%		48.8%
養殖生産量計(百トン)		2,682		1,029
第1位	かき類養殖	1,303	ぶり類養殖	506
第2位	のり類養殖	1,074	まだい養殖	447
第3位	ぶり類養殖	154	ひらめ養殖	19
養殖生産額計(百万円)		66,190		92,663
第1位	のり類養殖	23,006	まだい養殖	38,883
第2位	かき類養殖	21,568	ぶり類養殖	35,939
第3位	ぶり類養殖	12,801	真珠養殖	5,946

注)複数をまとめた項目(「その他の魚類養殖」等)については上位順位から除外した。

資料:『平成18年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省